



母子健康手帳を通じた母子保健サービス向上プロジェクト通信

2021年11月号

◆ウアンボ州 M&S の実施◆

本プロジェクト（PROMESSA）は、ウアンボ州の5市（Huambo市、Caála市、Bailundo市、Kachiungo市、Ukuma市）で、活動しています。2019年10～11月に母子健康手帳の導入（研修及びモニタリング&スーパービジョン（M&S））を行いました。プロジェクトの介入パッケージでは、手帳導入3ヶ月後に「導入3ヶ月後のM&S」を実施します。しかし、雨季の影響で手帳を導入している全施設を回ることが難しいため、2020年2月に各市2日ずつ、中心部の保健施設のみでミニM&Sを行いました。その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、M&Sを行っていませんでした。しかし今回、手帳導入から約2年経過した2021年10月に、M&Sを実施することができました。3チームに分かれて、合計106の保健施設でM&Sを実施しました。

市	日程	M&Sを実施した保健施設の数
Kachiungo市	2021年10月5～8日	18
Caála市	2021年10月5～8日	16
Bailundo市	2021年10月18～22日	20
Ukuma市	2021年10月18～22日	11
Huambo市	2021年10月25～28日	41

州都のHuambo市は、保健施設が60以上あり、中心地から車で4時間かかる施設もあります。また、道路が舗装されていなかったり、橋が壊れていて川を渡れなかったり、車でも行けない場所もあります。保健局職員がM&Sを実施する際の交通手段が大きな課題です。特に地方部に位置する保健施設では、適切な母子保健サービスの提供や母子健康手帳の記入に課題のある施設も多く、継続的なM&Sが求められます。

母子健康手帳のe-learning教材を作成中（KASSAI）



国家公衆衛生局、PSIと協力し、母子健康手帳のe-learning教材をKASSAIアプリ上の母子健康手帳モジュールとして作成しています。KASSAIアプリは、USAIDが支援するHealth For All project（PSIが実施者）の一環として作成され、現在はマラリアや家族計画等のe-learningモジュールがあります。また、UNITEL（携帯通信会社）と提携していて、医療従事者は通信料無料でアクセスできます。アプリをダウンロードすれば、インターネットのアクセスがなくても、学習可能です。母子健康手帳の基本情報や、産前／出産／産後ケア、小児健診、健康教育の方法、母子健康手帳の管理方法等についてのe-learningモジュールが作成される予定です。またポストテストで80%以上を取った受講者には、修了証も発行されます。このモジュールが完成すれば、医療従事者はスマートフォンを使用して、どこでも好きな時に、母子健康手帳の内容について学び、繰り返し復習することができます。2022年2月の完成に向けて、作成作業を進めています。